



【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30
土・日曜日・23日(金) 10:00～17:00
【休室日】毎週月曜日・10日(土) 阿波おどりのため全館休館 返却ポストも使えません
※貸し出し冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの1冊

詩の礎
和合亮一 著
和合亮一、福島県生まれ、福島市在住の高校教師
中原中也賞受賞の詩人。
著者は、東日本大震災の5日目から「ツイッター」
に投稿を始めた。ツイッターの140字の制限のなかで、
新たな形式の詩が生まれた。その日、初めてのメッセージは40
数個、フォロー（読みます）の申し込みは171人。そして、本
書の最後5月25日のフォローは1万4000人を超えている。
「放射能が降っています。静かな夜です。3月16日4:30」



新着本案内（主なもの）

- ★ 一般書 ★
- 「虹色と幸運」 柴崎友香
 - 「ジュージュ」 よしもとばなな
 - 「蠅の帝国」 帯木逢生
 - 「レポート！」 福田和代
 - 「韃靼の馬」 辻原登
 - 「レイジ」 菅田哲也
 - 「我が家の問題」 奥田英朗
- ★ 児童書 ★
- 「狛犬「あ」の話」 柏葉幸子
 - 「救命救急フライトドクター」 岩貞るみこ
 - 「隠れ家」 シャロン・ドガー
 - 「てるちゃんのかお」 亀澤裕也
 - 「遠く不思議な夏」 斉藤洋

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

- ◇子どもの広場
内容 「ミニわなげ」をつくります
日時 9月24日(土) 10:00～
持ち物 はさみ サインペン
対象 5歳（保護者同伴）～
場所 町民センター2階 小会議室A
申し込みは直接図書室へ または、☎82-5221
- ◇9月のおはなし会（第3土曜日、第3水曜日）
日時 9月17日(土) 10:30～
9月21日(水) 15:00～
場所 町民センター3階図書室
申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう！

● 家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動の定着・推進を図ります。

*文芸

開成町俳句協会

俳句

明日開く蓮の予告に目覚めけり
葉の蔭にそっと咲きたる蓮の花
蓮の花襟を正して咲いており
癒されし箱根連山揚羽蝶

遠藤シズ子
波多野すみ枝
濱本主雄
下澤操子
瀬戸悦子
芝田 みち子 選

としび短歌会

短歌

草むらに群がる蛍手をだせば
一瞬止まりて舞ふごと飛びゆく

湊 きみ子
野球がサッカーか、スポ
ーツの練習風景。突然、
監督の大声がとぶそのあ
たり驚いた大きな揚羽が
舞い上る。見えていなかっ
たものが突然に景の中に。

近藤 正臣 選

七言詠

早苗田に映る太陽まぶしくて
あちさる祭りの太鼓が呼んでる

杉本シズ子
あじさい祭りの初日、
上の句の情景のごとく天
気は正に快晴。イベント
会場からは見物を急ぎ立
てられるような太鼓の軽
快なリズムが響いてくる。
地元ならではのお祭り気
分を巧みに詠っている。

紫陽花路には、多種類が
植栽されている。つらさを
忘れようと出かけた作者
の目に、白いアナベルが映
った。「視界ひろがる」は、
場景と内面の広がりとを
掛け、先ほどまでの思いが
解かれたと詠んだ。



ぶらりと歩きながら開成町の文化を発見、
歴史を再確認してみませんか。
開成町に残る遺蹟を紹介します。



蓑笠之助と陣屋跡

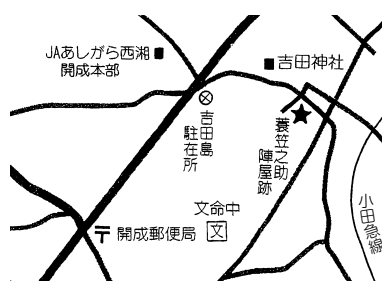
蓑笠之助正高は江戸時代中期の土木技術者であり、政治家です。はじめは己野庄次郎と名のついでに、享保十一年（一七二〇）年、酒匂川の土手の復興工事で田中休愚のもとで働き、その手腕が認められ幕府の役人となり、大岡越前守の支配下になった己野は、改名して蓑笠之助となりました。

その後、田中休愚が武蔵国多摩地方の代官に出世したの
で、酒匂川の工事責任者として迎えられ、吉田島村に陣屋
をかまえました。そして、約二千年間数々の治水工事をし
たり、代官となって足柄地方八二か村を支配するようにな
りました。

享保十六（一七三二）年の酒匂川の大洪水では、左岸の
村々（金手、西大井、鬼柳など）の被害がひどかったため、
蓑は酒匂川と川音川との合流点に大きな土手（三角土手）
を作り、水の勢いを弱めるようにして、その後の水害を防
ぎました。

また、蓑は農民への教諭書ともいえる『農家貫行』を書
き、村の名主たちに村役人としての心得や災害への備え方
などを指導して、村々の繁栄にも尽くしました。延享三
（一七四六）年、酒匂川普請の役目も終わったので、陣屋
を閉鎖して江戸へ帰りました。

上島の陣屋跡は今は宅地となつて、ほとんど残っていま
せんが、蓑が大岡氏ゆかりの茅ヶ崎の堤村からゆずり受け
て安置した「大庭稲荷」だけがその名残をとどめています。
（文責 文化財保護委員会 久保田 和男）



松田警察署
延沢駐在所 ☎83-5434
吉田島駐在所 ☎83-5457

ご注意ください！
ひったくり被害が急増しています！
平成23年1月から6月末までに、神奈川県内で923件のひ
ったくり被害が発生しています。これは昨年同時期と比べて85
件の増加で、全国ワーストワンの被害です。
一人一人の注意と心がけて、ひったくりの被害から身を守り
ましょう。

- 【被害や犯行の状況】
- 18時から23時までの間に、全体の約5割が発生。
 - 被害者の約5割が車道側にバッグを持っていた。また、自転車の前カゴからバッグを盗まれるケースも4割近くを占めている。
 - 被害者の約9割が女性。
 - 約8割が、原動機付自転車による犯行。

- 【ひったくりを避けるために】
- ①後ろから来るバイクなどに注意し、不審に思ったら振り向きましょう。
 - ②バッグは、車道の反対側（建物側）に持ちましょう。たすきがけをすると、さらに効果的です。
 - ③自転車の前カゴには、防犯ネットを取り付けましょう。
 - ④歩きながら携帯電話でメールをしたり、イヤホンをつけて音楽を聴いたりしないようにしましょう。（犯人に狙われやすくなります！）
 - ⑤遠回りでも、人通りの多い明るい道を選びましょう。